

第1回
野洲市
自主防災組織リーダー研修会



【湖南広域消防局 新防災指導車（グラドン号）車両デザイン画】

- と き 令和元年5月12日（日）
9時30分～11時55分（受付9時00分～）
- ところ 野洲市辻町488
野洲市総合防災センター
湖南広域消防局東消防署

第1回野洲市自主防災組織等リーダー研修会実施要綱

1 目的

東消防署の施設を活用し、①消火、②救出、③救護、④水防の4つの部門について、専門的な知識と技術を習得していただき、自主防災組織におけるリーダーの育成を図るとともに、自主防災力の更なる向上を目的とします。

2 日時

令和元年5月12日（日）9時30分～11時55分（受付9時00分～）

3 場所

野洲市辻町488 野洲市総合防災センター及び湖南広域消防局東消防署

4 研修班分け

(ブースローテーション)

1班 野洲学区・北野学区一部	① → ② → ③ → ④
2班 北野学区一部・三上学区	③ → ④ → ① → ②
3班 祇王学区・篠原学区	④ → ① → ② → ③
4班 中里学区・兵主学区	② → ③ → ④ → ①

5 当日の研修予定

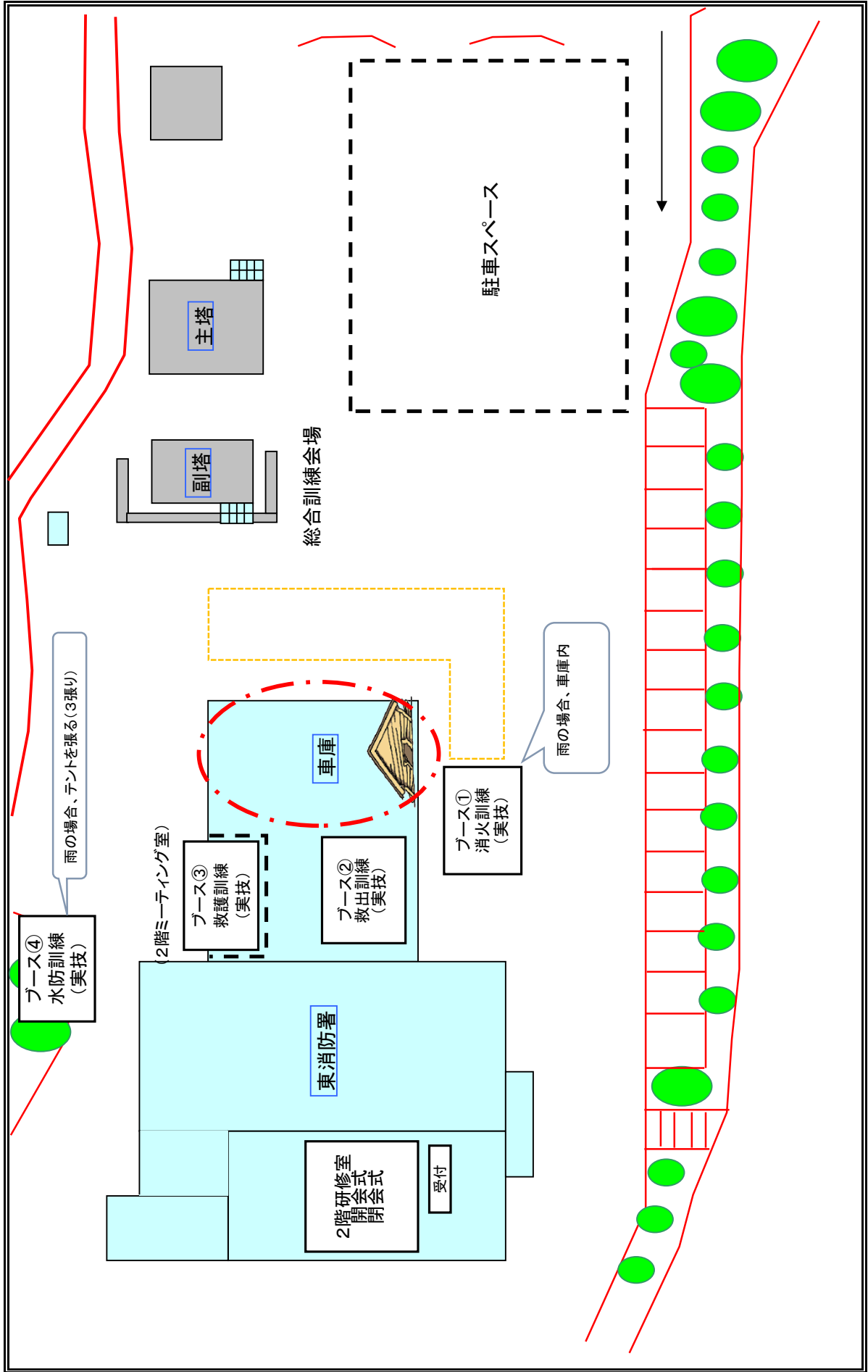
時間	内容	場所
9:00～9:30	受付	2階 研修室前
9:30～9:45	開会挨拶（市長挨拶） ※自主避難所についての説明	2階 研修室
9:50～10:15	自主防災専門研修 ブース① 消火訓練 実技（消火栓）	晴天：前庭 雨天：車庫
10:15～10:40	ブース② 救出訓練 実技（倒壊家屋からの救出・搬送）	車庫
10:40～11:05	ブース③ 救護訓練 実技（止血・固定法等）	東署2階 ミーティング室
11:05～11:30	ブース④ 水防訓練 実技（土のう作成要領・簡易土のう等）	ゴミステーション横
11:35～11:50	総合訓練（シナリオレス）	晴天：前庭 雨天：車庫
11:50～11:55	閉会挨拶（東消防署長）	2階 研修室

第1回リーダー研修会 班割

参加者 83自治会 128名

自治会		班別	研修ローテーション	自治会		班別	研修ローテーション
野 洲 学 区	野洲	1班 34名	ブース① ↓ ブース② ↓ ブース③ ↓ ブース④	祇 王 学 区	上町	3班 32名	ブース④ ↓ ブース① ↓ ブース② ↓ ブース③
	四ツ家				下町		
	大畑				江部		
	万葉台				中北		
	行畑				北		
	小篠原東部				上屋		
	小篠原西部第一				新上屋		
	小篠原西部第二				辻町		
	桜生			富波甲			
	駅前			富波野			
	駅前東			富波松陽台			
	和田			富波乙			
	青葉台			野洲の里			
	レオ			見星寺ルゾグマ			
	レックス			富波東			
	グラン・ブルー			大篠原			
エスリード野洲第二	小堤						
北 野 学 区	市三宅	2班 33名	ブース③ ↓ ブース④ ↓ ブース① ↓ ブース②	篠 原 学 区	入町	4班 29名	ブース② ↓ ブース③ ↓ ブース④ ↓ ブース①
	駅前北				長島		
	五反田				高木		
	山田				小南		
	縄手				篠原駅前		
	樋ノ尻				比江		
	稲辻			小比江			
	富波南			北比江			
	久野部			乙窪			
	久野部東			錦の里			
	竹生			吉地			
	五之里			西河原			
	富波湖州平			比留田			
	第二湖洲平			木部			
富王美台	虫生						
野洲平	八夫						
アルティブラザ野洲	野田						
ヴィルヌーブ野洲	五条						
竹ヶ丘	安治						
三 上 学 区	三上	2班 33名	ブース④ ↓ ブース① ↓ ブース②	兵 主 学 区	須原	ブース① 消火訓練（東消防署前庭）※雨天時車庫内 ブース② 救出訓練（東消防署車庫内） ブース③ 救護訓練（東消防署2階ミーティング室） ブース④ 水防訓練（東消防署ゴミステーション横）	
	七間場				下堤		
	妙光寺				堤		
	北桜				井口		
	南桜				六条		
	近江富士第一区				吉川		
	近江富士第二区				菟浦		
	近江富士第三区						
	近江富士第四区						
	近江富士第五区						
近江富士第六区							
近江富士第七区							

会場見取図



市が開設する自主避難所について

★「自主避難所とは」

自主避難所は、災害対策基本法に基づき野洲市地域防災計画に定める避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急））を発令した際に開設する避難所とは異なり、台風が野洲市に接近・直撃する恐れがある場合など、**自分の判断で事前の避難**を希望される方を対象に一時的に開設する避難所です。

本来、ご自身が自宅にいることが不安な場合の避難場所は、知人や親戚の家などで安全な場所を自分で確保していただくか、自治会館等の一時避難所等に避難をおこないますが、それが出来ない方のために、一時的に市が「自主避難所」を開設します。

★「自主避難所の開設基準」

野洲市に台風が接近・直撃する恐れがある場合、又は長時間降り続く雨の影響等で洪水や土砂災害の発生が懸念される場合、気象状況や市民の皆さまの問い合わせ状況等を勘案し、自主避難所を開設します。

なお、警報解除等、災害の危険性が回避された場合には、原則時間に関係なく自主避難所を閉鎖させていただきます。

★「自主避難所利用時のお願い」

- ① 食料品、日用品などの提供はしません。あらかじめ各自で食料、飲料水、携帯ラジオ、着替え、毛布等、最低限の必要品を準備のうえ、開設している避難所に避難してください。
- ② 自主避難所内は禁煙とし、酒類の持ち込みやペットの同伴はお断りします。
- ③ 避難者は、入退所時に必ず避難者受付カードに必要事項を記入ください。
- ④ 避難準備情報などの避難情報が発令された場合、事前に自主避難をされている方でも、健康な方については、部屋などの移動をお願いすることがあります。
- ⑤ 避難所として指定された部屋とトイレ以外の使用はご遠慮ください。また、備え付けの物品等にも手を触れないでください。
- ⑥ 各自が出したゴミ等は各自で持ち帰るとともに、退所時は入所者が相互に協力のうえ、使用した部屋等を必ず清掃してください。

以上のことを必ずお守りいただき、他人に迷惑にならないよう、お互い譲り合ってご利用ください。

消火訓練

消火器編

初期消火の目的 火災を早期発見し、被害を最小限にとどめること

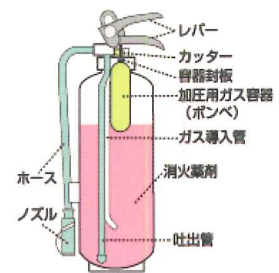
消火器で消火できる限界

- 普通、私たちが消火器で消火できる初期消火の限界は、炎が天井に達するまでです。
(ただし、煙が多い場合は、早めに避難しましょう) 炎が天井に広がると初期消火は困難なので、避難することを考えましょう。

加圧式消火器

- 使用方法:安全ピンを抜いて、レバーを握る

- カッターが加圧用ガス容器の封板を破り加圧用ガスと容器内のガスが、ガス導入管を通して、容器内の粉末消火剤を攪拌し、その圧力で消火剤が吐出管・ホースを通してノズルから噴出します。

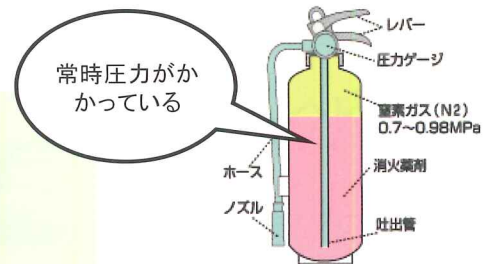


加圧式消火器断面図

蓄圧式消火器

- 使用方法:安全ピンを抜いて、レバーを握る

- 外観は、加圧式消火器とほぼ同じですが、消火器内部には常時圧力がかかっており、消火器の圧力を示すゲージ (指示圧力計) が付いています。違いは、加圧式消火器は、消火剤が噴出すると止まらないのに対して蓄圧式消火器は、レバーを戻せば止めることができます。



蓄圧式消火器断面図

消火器の表示内容(絵表示)

- どんな火災に適応するか

- 右図のような白・黄・青の絵表示マークのあるものは全ての火災に適応します。



普通火災用



油火災用



電気火災用

訓練用水消火器

- 多くの人に体験してもらおう場合に適しています。
(1本の消火器で数人の方が使用できます。)
- 訓練する場所を選びません。
- 消防署で貸出可能 (お問い合わせください。)

※実火災の消火感覚がつかみにくい



注: 老朽化消火器の破裂事故防止対策として「消火器への安全上の注意事項等の表示」と「耐圧性能点検」が法令改正により義務付けられています。詳細は、消防署にお問合せください。

消火器の使い方

消火器を障害物にぶつけないよう注意しながら、火災の起きている場所近くの消火に安全な場所まで運びます。

※あまり離れすぎていると、火への放射前に薬剤が尽きてしまいます。概ね7～8m手前を目安とします。



①黄色の安全ピンを引き抜く。



②ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向ける。

※ホースの途中を持つと、放射の圧力などからねらいが定まらず的確に放射できない恐れがあります。



③レバーを強く握って放射する。

※消火器が重い場合、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。



④火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射する。

※自分の身を守りつつ効果的に放射するために、**風上**から放射します。
室内で放射する場合は、**出入口を背にして**逃げ道を確保します。

放射時間は、消火器の種類や薬剤の量により異なりますが、粉末消火器で15秒程度、強化液消火器で30～70秒程度です。放射時間や放射距離は本体に必ず表示してありますので、日頃から確認しておきましょう。

○閉じ込められている場合

【使用する資機材】

かなづち・ハンマー・おの・のこぎり・スコップ・太さ10cm 以上の角材・太さ5cm 以上の鉄パイプ・支点となる堅い角材・自動車用ジャッキ

救出の手順

- ①声を掛けて安心させる
- ②閉じ込められている人数を確認する
- ③てこやジャッキで隙間を作る
- ④できた隙間を角材で補強する
- ⑤中にいる人にケガをさせないように、作業しやすい部分から破壊する



○ジャッキ

ここに注意！

- ・ジャッキをかけるところが壊れやすい場合は、あて木をする
- ・操作中にジャッキが横へずれたらすぐに作業停止
- ・持ち上がらないときは無理に操作しない
- ・手動レバーが固くなったら、そこが限界
- ・持ち上げた箇所にあて木で補強してから中に入る



○倒れたブロック塀からの救出

【使用する資機材】

かなづち・ハンマー・おの・のこぎり・たがね・太さ10cm 以上角材・太さ5cm 以上の鉄パイプ・支点となる堅い角材・自動車用ジャッキ・鉄線鋏・ペンチ

【救出の手順】

- ①声をかけて安心させる
- ②挟まれている人数を確認する
- ③塀の一部を破壊して軽くする
- ④てこやジャッキで隙間を作る
- ⑤できた隙間を角材で補強する

ワンポイントアドバイス

- ①ブロックは壊れやすいので、てこの支点には使わない！
- ②壁の中央に挟まれていたら片側を壊して軽くする！
- ③ブロック塀は壊れやすいので自動車用ジャッキで持ち上げるときは板をあてる！



搬送の方法

—徒手で運ぶ—

① 1人支持搬送



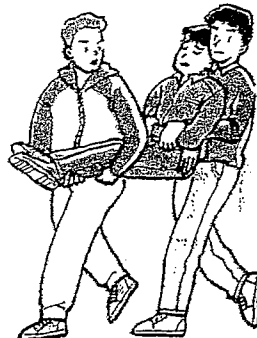
② 抱き上げ搬送



③ 背負い搬送



④ 2人支持搬送



後ろの人は
かかえる人
の腕1本を
両手で持つ

* 歩行不能な負傷者は
不向き

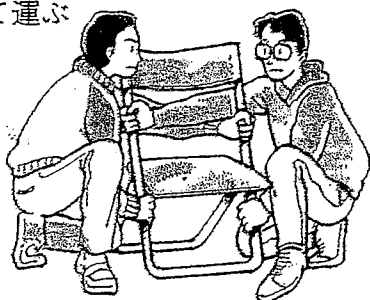
* 脊椎損傷、骨折者は
不向き

* 骨折、内臓疾患は
不向き

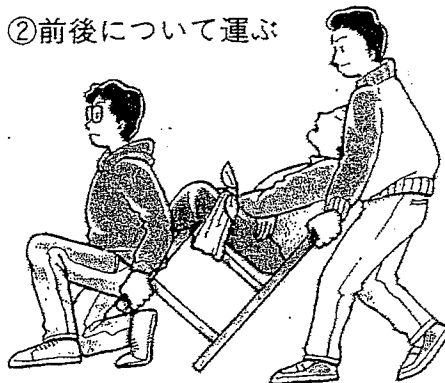
* 骨折患者以外の負傷者

—いすを使って運ぶ—

① 左右について運ぶ



② 前後について運ぶ



* 胸痛、喘息等
の呼吸困難の
ある人に有効

—応急担架で運ぶ—

● 毛布の利用 ●

① 1/3のところのや
や右に物干し竿
や丈夫な棒を置

② 折り返す

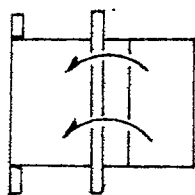
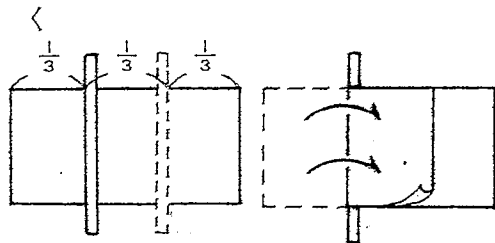
③ 折り返された端
より内側にもう
1本置く

④ 折り返す

● 着衣の利用 ●

① 裏返しにして袖を
通す

② 隙間なく並べる



作り方のポイント

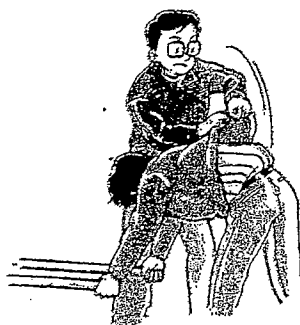
両手で棒の先端を握り、
腰を深く曲げ、上着の裾
を持って、裏返しになる
ように棒の方向に脱がせ
る。一人ずつ同じ動作を
繰り返す。

* ボタンのあるものは必
ずかける



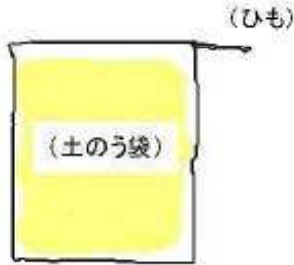
ワンポイントアドバイス

- ・負傷者の状態を見ながら、足を進行方
向に向けて搬送する！
- ・負傷者のいちばん楽な姿勢で搬送を！



土のうの作り方

①



- ・ 土のう袋を用意します。
- ・ 土のう袋は縦60cm、横45cm程度の大きさに上部に締めて閉じるひもがあります。

②



- ・ 二人一組で協力して、袋に土を入れます。
- ・ スコップ5～7杯程度の土を入れます。
- ・ 袋の約6～8割ほど土を入れます。

③



- ・ 袋の端のひもを引いて、袋の口を絞ります。

※ 訓練で女性、子ども、お年寄りの方が行う場合は、土の量は袋の半分程度に調整してみてください。

④



- ・ 引いて長くなったひもで、袋の口のまわりを3～4回まわして軽く締めます。

- ・ まわしたひもの内側を、ひもの先を下から上に通して締めると完成です。

※ ひもを上から下に通して締めてもOKです。

(土1㎡あたりで作成できる土のう数の目安)

袋詰め程度	土のう作成数	土のう1袋の重量
5割程度	約100袋	約18kg
6割程度	約80袋	約22kg
7割程度	約70袋	約26kg
8割程度	約60袋	約30kg

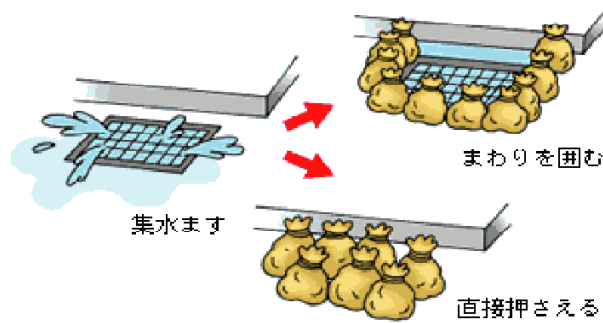
土のうの用法など

土のうにより事前に浸水を防いだり、排水路を作ったりすることができます。締めた口を一方向にして並べ、土のうの上からしっかりおさえましょう。

●家屋への浸水を防ぎます



●排水路からのあふれを防ぎます



●宅地等に浸水した水の排水路を作ります



小規模な浸水であれば、土のうの代わりに日ごろから家庭にあるものを使って浸水を防ぐことができます。

簡易水のう

家庭用の大きいゴミ袋を2～3重にして、その中に半分程度の水を入れて口をしっかりと絞って作ります。たくさん作って、出入口などに隙間無く並べて使用します。



簡易水のうと段ボール箱の併用

簡易水のうを段ボール箱に入れて連結して使用します。水のみだけの場合に比べて強度が増しますし、段ボール箱に入れることによって水のを積み重ねて使用することができます。



プランターとビニールシートによる方法

花などを植える土の入ったプランターをビニールシート（レジャーシート等）で巻き込み、連結して出入口などに並べて使用します。

※ プランターの代わりに水を入れたポリタンクも使用できます。



平成31年度野洲市自主防災組織等リーダー研修会実施計画

1 趣 旨

市では、平成18年度から各自治会の自主防災組織の充実・強化を図るため、地域防災の指導的立場にある方を対象にリーダー研修会を開催し、防災に関する知識・技術の習得をしていただいております。

今後、いつ起こる分からない風水害や大規模地震などの広域災害に備え、自主防災組織等の一層の組織力向上と活動の強化を図るため、本年度も災害発生時に即応できる指導者をより多く養成し、「自助」「共助」によって広域災害時の被害等の軽減を図ることを目的にリーダー研修会を開催します。

2 研修日時及び内容等

第 1 回	
日 時	平成31年(2019年)5月12日(日)9時30分～12時00分
場 所	東消防署・野洲市総合防災センター
内 容	自主防災専門研修(消火・救出救護・水防訓練)
対象者	各自主防災組織等の消火又は救出班のリーダー (各自治会1名以上2名以内)
第 2 回	
日 時	平成31年(2019年)7月7日(日)9時30分～12時00分
場 所	東消防署・野洲市総合防災センター
内 容	火災災害時の初動対応訓練、及び自助の必要性について
対象者	各自主防災組織等のリーダー等(各自治会1名以上2名以内)
第 3 回	
日 時	平成31年(2019年)8月25日(日)8時30分～12時30分
場 所	東消防署・野洲市総合防災センター
内 容	地震災害時の初動対応訓練及び避難所開設・運営訓練
対象者	各自主防災組織等のリーダー等(各自治会1名以上2名以内)

3 実施機関

野洲市・湖南広域消防局東消防署

4 その他

- ・参加者が3名以上の場合は、別途調整させていただきます。
- ・各研修会の詳細については、別途通知させていただきます。